

特集 暮らしを支えるインフラ

下水道管とストックマネジメント

① 下水道の役割

【自然環境の保全】

排水を下水処理場できれいにして川に流すことで、地域の水環境を守っています。

【快適な生活の実現】

トイレの水洗化などにより、においや不衛生な状態が改善され、快適な生活環境の向上につながっています。

② 下水道の“今”

家庭や事業所から出る排水を下水処理場に運ぶため、久留米市では下水道管を整備しています。昭和42年から整備してきた下水道管の総延長は約1,420kmに達しています。これらの管路は市民の暮らしを支える重要なインフラとなっています。

下水道管の耐用年数は約50年とされるなか、現在、久留米市の管路の約64km（全体の4.5%）が50年を経過しています。今後、耐用年数を超えた管路が年々増加する見込みです。

③ 下水道管のストックマネジメントとは

下水道管内は経過年数による老朽化だけではなく、管内を腐食させるガス（硫化水素）の発生具合で劣化の早さが異なります。そのため、これまで整備してきた下水道管を安全に長く大切に使うために計画的に点検・調査、対策工事を行い、長期的なコストを抑えています。このことを「ストックマネジメント」といいます。



下水道管の破損やつまりをそのままにしておくと、下水道の利用制限や道路陥没につながります。

久留米市では「ストックマネジメント計画」を定め、点検・調査の結果から、事故が起きる前に計画的に対策工事を行っています。

優先順位を決めて工事を進めることで、費用を抑えながら下水道管を長く健全に保ち、安全で安定した下水道サービスの維持に努めています。

ストックマネジメントで守る安全

点検・調査 下水道管の中をカメラで調査し、ひび割れや腐食など傷みの程度を判定しています。



管口をモニターで確認



管内自走式カメラ



マンホールの本体や、ふたも点検・調査しています。



久留米市の下水道管の長さ



約1,420km

久留米市に建設された下水道管は久留米市～熊本市間の距離

計画

点検・調査の結果をもとに、下水道管の破損や亀裂などの状況（傷みの程度）の確認と下水道管の被害度を加味した優先順位を整理して、対策工事の計画を作ります。

対策工事

計画に基づき、傷んだ管の対策工事をします。主に「管更生」という工法で、道路を掘り返さずに管の内側から補強していきます。

管更生工事による施工前後の管の様子



工事前



工事後

下水道法の改正について

（下水道のチェックの仕様が異なります。）

- 下水道管の維持管理状況（点検結果、対策内）を公表することになりました。
- 下水道管の状況を判断する基準が見直されました。

詳細は今後、図より示される予定です。



管更生工法：古くなった下水道管の中に新しい管を作る工法です。下水道管の大きさや状態に合わせて、筒状の更生材を管のなかで膨らませて固める方法など、管の状態に応じた最適な方法で行います。

下水道インフラを未来へつなぐ取組

下水道管は地中に埋まっている見えないインフラですが、**家族の命と財産を安全に下水処理場まで運ぶ**大切な役割があります。久留米市が長年にわたって整備してきた管路は、生活を支える大切な財産です。限られた費用の中で、これからも安定した下水道サービスを提供し続けるために、今後も効率的な維持管理に取り組んでいきます。

☎ 下水道整備課 TEL:30-9079 FAX:38-2694

上下水道部からのお問い合わせ

漏水やマンホールふたのぐらつきなどの異変を見つけた場合は、上下水道部にお知らせください。市民のみねさまからの通報による早期発見・対応が、施設の安定した機能維持や道路陥没などの未然防止につながります。



上水道HP



下水道HP

☎ 上水道整備課 TEL:30-8525 FAX:38-2694 ☎ 下水道整備課 TEL:30-9079 FAX:38-2694
夜間、休日・祝日の連絡先 TEL:30-8500（月～金）17:15～翌朝8:30（土・日・祝日・年末年始）24時間受付

久留米市

上下水道
フェア
2026
来て見て学ぼう！

日程 2026年10月17日（土）

時間 10:00～15:00 ※雨天中止

場所 南部浄化センター
（安武町住吉1800）

内容 給水車体験、
先着来場者プレゼント（花巻）、
ステージイベント、
マスコットすくい、
パネル展示 など
※なお、内容は変更する場合があります。

